

## 愛されて育つ デザイン

くまモンの成功に見る  
地方のデザイン

### ゆるキャラブーム到来中！

今、世間で大人気のゆるキャラ。可愛らしい見た目とどこか脱力感のあるゆるさを併せ持つキャラクターは、子どもからお年寄りまで幅広い年代に愛される人気者です。地域のPRのため全国各地で生み出され、その数は今も増え続けています。ここ茨城にもハッスル黄門をはじめ様々なゆるキャラがいることを、皆様も存知のことと思います。

### くまモン誕生秘話

そんなゆるキャラの中で今最も人気があるのが2011年にゆるキャラグランプリでグランドチャンピオンに輝いた熊本県のPRキャラ、くまモンではないでしょうか？熊本県は2011年3月の九州新幹線全線開通に向けたキャンペーンのアドバイザーを、同県出身の人気放送作家 小山薫堂氏に依頼。小山氏は「く

まもとサブライズ！」というキヤッチコピーを考案し、一連のデザインをグッドデザインカンパニーの水野学氏に依頼しました。高名な二人によって生み出されたくまモンは同県のブランド推進課による試行錯誤によって徐々に人気を得ていきました。くまモンにはその見かけとは対照的な、しっかりした戦略が練られていたのです。

### くまモンのゆるくない戦略

熊本県はくまモンを単なるゆるキャラで終わらせませんでした。くまモンを公務員に見立て、熊本県営業部長に任命。くまモン自身が名刺を配ったり、熊本県をPRするために企業に飛び込みの営業をかけたたりすることで、人気や認知度がどんどん上昇していきました。さらに熊本県は、ロゴとキャラクターをロイヤリティー・フリーにしました。そうすることで多くの人がくまモンに関わるようになり、くまモンを使って何かできないかと積極的に考えるようになりました。一方で、使用の際には熊本県のブランド向上に繋がるかという審査があります。使用料がかからず、金額交渉が必要ないため熊本県にとってくまモンの使用方法や用途をコントロールし易いメリットもありました。

こういった数々のアイデアが功を奏し、くまモンは他のゆるキャラを圧倒する人気を得ました。くまモン成功の影には様々な戦略がありました。



くまモン

### 地元で愛されるデザイン

くまモンがここまで成功した理由の一つに、くまモンが「地元の人々に愛されること重視した」ということが挙げられると思います。今や全国的に大人気のくまモンですが、くまモンを育てたのは地元の人々です。地元の人々が楽しく参加できる仕組みがあったからこそ、くまモンはここまで大きく成長することができました。

地方のデザインにも同じことが言えると思います。キャラクターに限らず、そのブランド(商品・サービス等)に関わった人々が自身がそのブランドを愛し、誇りに思える。そういった仕組みや環境を整えることは我々デザイナーの大きな役割の一つです。くまモンの成功と可愛らしい表情の中に、地元で愛されることに思いがあります。(企画制作部 加藤博也)



029(233)6143

www.lilyacademia.com

一人ひとりの学ぶ力が伸びる、毎日が楽しい学習塾！  
**LA リリーアカデミア**  
Lily Academia



●水戸教室 (水戸市梅香 2-1-51) ●見和教室 (水戸市姫子 2-751-17)

- ・信頼と実績、リリーグループの学習塾
- ・パソコンだから実現できる、「わかりやすい」「楽しい」自立学習システム
- ・無料体験レッスン随時開催中！